

小平市公共施設マネジメントニュース

平成30年8月号

市民意見交換会

小川駅西口・中央公民館周辺施設の一体的検討～複合化等の方向性～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取り組む公共施設マネジメントを推進しています。

この度、公共施設マネジメント推進計画に基づき、老朽化等を理由として更新等を行うとした市役所周辺の中央公民館・健康福祉事務センターと近隣の福祉会館など、また小川駅西口地区市街地再開発事業において取得する公共スペースと小川駅近隣の西部市民センター、小平元気村おがわ東などの一体的な検討や複合化等の方向性に関する「基本路線（案）」について、市民と意見交換を行いました。

市では、市民参加などを経て平成31年10月までに新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【参加状況】

①	6月22日（金）	18時～20時	中央公民館講座室2	8名
②	6月24日（日）	10時～正午	小川西町公民館ホール	15名
③	7月11日（水）	14時～16時	東部市民センター集会室	10名
④	7月19日（木）	18時～20時	小川西町公民館ホール	17名
⑤	7月29日（日）	10時～正午	東部市民センター集会室	10名
⑥	8月5日（日）	14時～16時	中央公民館学習室4	27名
				延べ87名



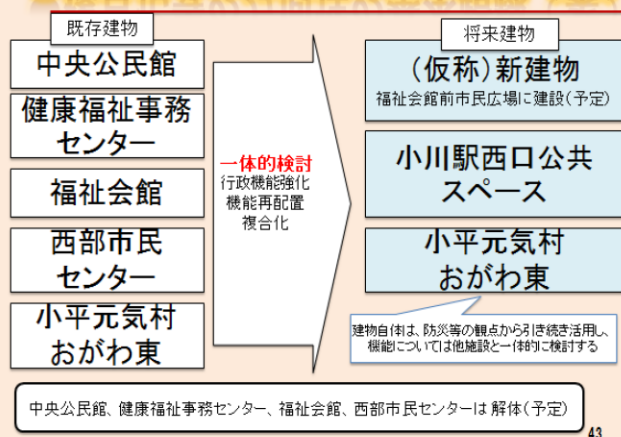
会場の様子

意見交換会の進行

前半に、市の公共施設の現状と課題を説明し、公共施設マネジメント基本方針及び公共施設マネジメント推進計画の内容に沿いながら今後の方向性を紹介した後、小川駅西口・中央公民館周辺施設の一体的検討の趣旨と複合化等の方向性の基本路線（案）の内容について説明を行いました。

後半に、複合化等の方向性の基本路線（案）等に関して、市民と意見交換を行いました。

●複合化等の方向性の基本路線（案）



【複合化等の方向性の基本路線（案）】

基本計画に関連する既存建物を、中央公民館等の5施設（左図参照）とし、行政機能の向上、量の豊かさから質の豊かさへの転換に向けた次の世代の公共施設づくりなどの観点から、一体的に検討し、市役所周辺として（仮称）新建物、小川駅西口公共スペース、小平元気村おがわ東に機能再配置、複合化等を行う「複合化等の方向性の基本路線（案）」を提示しました。

中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館に関する機能は（仮称）新建物に、小平元気村おがわ東の一部及び西部市民センターに関する機能は、小川駅西口公共スペースにまとめていき、従来の利用環境に大きな影響が無いようにしていくことを基本的な方向性としてします。

市民意見交換会スライド資料より抜粋

1



市民意見交換会での主な意見



【複合化等の方向性の基本路線（案）に関するもの】

- ① 市の示す複合化等の方向性の基本路線（案）は妥当であると考えているが、小平元気村おがわ東を引き続き活用する場合、延べ床面積は減少しないのではないか。
- ② 中央図書館についても、一体的に整備する考えはないか。
- ③ 既存の建物はいつまで使用する予定なのか。
- ④ 小川駅西口再開発ビルの最上階にレストランを入れるなど、人を呼び込める魅力あるスペースにしてほしい。
- ⑤ 建物解体後の跡地の活用についても、検討しておくこと。
- ⑥ 建築費や維持管理費に配慮し、市民負担の増加にならないように配慮すること。また、一定の収入が得られるような手法により、コストメリットを図ることができるような仕組みも検討してほしい。
- ⑦ 延べ床面積 20%以上の縮減のなかで、本事業の複合化などによりどの部分が縮減されるのか。
- ⑧ 小平元気村おがわ東は萩山駅であり、小川駅とは距離が離れている印象がある。

【今後の市民参加に関するもの】

- ① 今後もこのような市民の声を聞く機会をつくってほしい。利用団体やサークルの意見も聞いてほしい。
- ② バリアフリーの施設となるように、高齢者や障がい者の声もきちんと聞くこと。
- ③ 個別にヒアリングを行うなど、きめ細かな市民参加を行ってほしい。

【機能等に関するもの】

- ① 駐車場の確保についても考えておくこと。
- ② 高齢者や障がい者が使いやすい施設にしてほしい。
- ③ 現状の部屋の数と面積が減るのは困る。
- ④ （仮称）新建物、小川駅西口公共スペース、小平元気村おがわ東にどのような機能が入るのか。
- ⑤ 郵便局の敷地内に保育園を開設するなどの事例がある。従来の手法にとらわれず、新しいアイデアも検討してほしい。

【その他】

- ① 小川駅西口公共スペース取得後の数十年後に訪れる建替えの際には、様々な調整など簡単ではないことが想定されることから、今の段階から整理しておくべきである。
- ② 施設までの交通アクセスについても検討してほしい。
- ③ 使用料の減免に関する取扱いについて、どのように取り扱われるか示してほしい。
- ④ 複合化による他自治体の良い事例があれば、研究して取り込んでほしい。
- ⑤ 小学校及び中学校全体の統廃合をどうしていくのかについて示すべきである。
- ⑥ 小学校に地域対応施設を複合化していくという市の考えには賛成である。
- ⑦ 民間企業では建物の建て替えなどに向けた貯金を行っている。市の積立金などの状況はどうか。
- ⑧ 広域対応施設、地域対応施設のどちらかに偏った再編を行うのではなく、バランスを考慮すること。
- ⑨ 高齢者の健康増進のために、軽い体操ができるスペースが必要である。
- ⑩ 東部公園プールの7月・8月以外で使用されていない期間の活用について検討してほしい。

基本計画の策定に向けて、今後も市民参加を行ってまいります。
詳しくは市報や市ホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513
メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

小平市公共施設マネジメントニュース

平成30年10月号

次の世代の公共施設づくりのための準備会

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

6月から8月にかけて開催した「複合化等の方向性」の市民意見交換会の結果を踏まえ、次の世代の新しい公共施設づくりを進める準備として、今後の市民参加の全体像となる「中央・小川デザインプロジェクト～次の世代の施設を考えよう～」や、「中央・小川デザインカフェ」（ワークショップ形式）の進め方などについて説明を行いました。また、準備会では、他自治体の取組の事例紹介や参加者同士での意見交換なども行いました。

市では、市民参加などを経て平成31年10月までに新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【準備会参加状況】

①	9月30日（日）	10時～正午	福祉会館第一集会室	16名
②	10月8日（月・祝）	10時～正午	小川西町公民館ホール	30名
				延べ46名

会場の様子



準備会の進行

前半に、これまでの公共施設マネジメントの取組、市民意見交換会の結果報告、そして今後の市民参加の進め方の説明を行いました。

後半は、オリエンテーション的な位置づけとして、他自治体の事例紹介と参加者同士で公共施設に関することなどについて意見交換及び発表を行いました。

【中央・小川デザインプロジェクト】

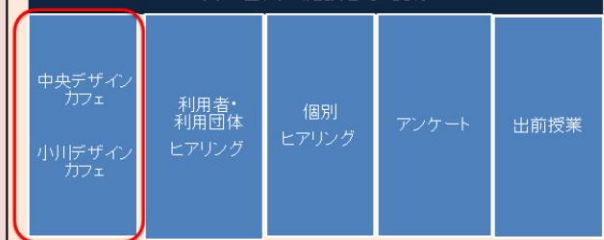
多様なニーズを把握するため、ヒアリングやアンケートなどの手法を組み合わせ、市民参加を行います。（右図参照）

市民参加によるニーズ把握は平成30年度年度末までを目途として、平成31年8月予定の市民意見公募（パブリックコメント）手続を経て、平成31年10月の基本計画策定に向けて取組を進めます。

準備会では、手法のひとつである「中央・小川デザインカフェ」についての説明を行いました。

中央・小川デザインプロジェクト

～次の世代の施設を考えよう～



市民参加構成図

中央・小川デザインプロジェクト
～次の世代の施設を考えよう～

**中央・小川
デザインカフェ
OPEN!**

中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの
「次の世代の新しい公共施設づくり」に向けて、
コーヒーやお茶とお菓子を楽しみながら、
わくわくするワークショップを交えて
これからの計画を検討していく場です！
一緒に小平市の未来をデザインしましょう！

色紙の詳細や
参加要件は
裏面の内容を
ご覧ください！

ぜひご参加ください!

私たちが
この街を
より良くする
ことができます！

未来をデザインする
チャンスがある
ということ

小平市公共施設マネジメント マンガ作品集より

【お問合せ・申し込み】小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課
〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL042-346-9557
FAX042-346-9513 メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

市民参加ちらし

【中央・小川デザインカフェ】

異なる地域性への配慮及び市民参加を丁寧に進めるため、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアに分けて構成しています。また、メリハリをつけた展開などを行うため、各エリアを2部で構成しています。

- ① 中央公民館周辺エリア 6回（第1部3回、第2部3回）
- ② 小川駅周辺エリア 6回（第1部3回、第2部3回）

●対象者

対象者は、以下の2点の要件を満たす方です。

- ① 在住、在勤、在学、市内で活動する方
- ② 各エリア第1部か第2部、または両方の原則 全日程に参加できる方（両エリアの申込みも可能）

※日程の途中からの参加や欠席も可能です。

目標に関する意識を持っていただくため「次の世代の新しい公共施設づくり」というテーマでの考えを記載して頂きます。

詳しくは、各公共施設の設置の「ちらし」をご覧ください。小平市のHPにも掲載しています。
<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/071/071682.html>

【準備会での意見など】

- ① 小平市は自然環境が豊かなのが特徴である。小平市の特色（自然や大学など）を活かすことが必要である。
- ② 財政的なものを見据えて、現実を踏まえないといけない。
- ③ 関心のない方にどう働きかけるかについても考えなければいけない。
- ④ 近隣の住民とそうでない市民との意識は異なるため、エリアを区切って整理をすることも必要である。
- ⑤ 年齢層やライフスタイルが様々に異なる中で、市民が何を求めているかについて声をよく聞いてほしい。
- ⑥ 障がい者や高齢者などが使いやすいバリアフリーのことも考えてほしい。

市民参加を多様な手法で行います。また、この事業は大規模であり、市民参加を着実に、確実に進めていくため、そして市民と行政の「つなぎ役」として、(株)GPMO が市のコンサルタントとして携わります。公共施設マネジメント基本方針の理念である「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」の実現を目指して取組を進めます。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513
メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

小平市公共施設マネジメントニュース

平成30年11月号

第1部 第1回 中央・小川デザインカフェ ～次の世代の施設を考えよう～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取り組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福社会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

中央・小川デザインカフェ（ワークショップ形式）では、参加者同士でリラックスした雰囲気の中、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの各テーマについてアイデアを出していきます。

市では、市民参加などを経て平成31年秋を目途に新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【参加状況】平成30年11月10日（土）

① 中央公民館周辺エリア：中央公民館 講座室2	10時～正午	19名
② 小川駅周辺エリア：小川西町中宿地域センター 集会室	14時～16時	16名

【中央デザインカフェ】

会場の様子



テーマ：中央公民館周辺の未来を想像しよう

全体進行：これまでの経過説明を行った後、グループごとに4つのワークテーマについて意見交換やアイデアを出し、グループごとに発表を行いました。

ワーク①：エリアの良いところ・得意なところを考える

ワーク②：エリアの嫌いなところ・苦手なところを考える

ワーク③：20年度後のエリアを考える

ワーク④：エリアの未来を3要素にまとめる

※進行の都合によりワーク③・④は同時に検討

【小川デザインカフェ】

会場の様子



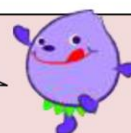
テーマ：小川駅周辺を見つめよう

全体進行：これまでの経過説明を行った後、グループごとに2つのワークテーマについて意見交換やアイデアを出し、グループごとに発表を行いました。

ワーク①：3つの機能（図書館・広めの多目的室・公民館）に求める要素を考えよう

ワーク②：4つの機能（3機能＋行政機能（出張所機能））の共存のあり方を考えよう

参加者の主な意見は裏面にまとめていますので、ご覧ください。



参加者の主な意見

【中央デザインカフェ「中央公民館周辺の未来を想像しよう!」】

1 ワーク①「エリアの良いところ・得意なところを考える」

- ① 様々な機能がエリアに集まっているため、利用しやすい。
- ② 小平市の真ん中に位置しているため、様々なところから人が集まることができる。
- ③ ホールは、講演会などに活用する人にとって使いやすい。
- ④ 中央公民館西側の駐車場が広く、駐車可能台数が多い。
- ⑤ 自転車で行きやすい。
- ⑥ 川にメダカがいたり、木々が生い茂るなど自然に囲まれている。

2 ワーク②「エリアの嫌いなところ・苦手なところを考える」

- ① 施設利用者の横のつながりが少なく、施設同士の連携もあまりない。
- ② 公民館に雑談するスペースが無い。
- ③ 発表の場が少ない。
- ④ レストランなど飲食する場が少ない。
- ⑤ バスが少ないなど、車でないと移動しにくい。
- ⑥ 駐輪場が少ない。

3 ワーク③・④「20年後のエリアを考える・エリアの未来を3要素にまとめる」

- ① 高齢者と若者が会話できるような場を増やしてはどうか。
- ② 市民が芸術など文化を発信することができる場を増やすなど、文化の香りがするまちを目指してはどうか。
- ③ 道路整備といったインフラ関連の整備が進み、移動が円滑になるのではないか。
- ④ 鉄道などが撤退するなども想定したまちづくりを考えるべきではないか。
- ⑤ 子育てしやすく、高齢者が運動による健康維持ができ、福祉が充実したまちになると良いのではないか。
- ⑥ 屋上緑化など、環境に配慮したまちを進めていくことが良いのではないか。

【小川デザインカフェ「小川駅周辺を見つめよう!」】

1 ワーク①「3つの機能(図書館・広めの多目的室・公民館)に求める要素を考える」

- ① 広場をはじめ、どこでも本を読むことが可能で、何かに特化した図書館であると良い。
- ② 新しい施設にはカフェ併設もしくはお酒を呑めるスペースを設けてはどうか。
- ③ 民間事業者が賃貸するような場を設け、賃料等を得るなどしてはどうか。
- ④ 個人が居場所を感じ、学生、高齢者、子育て世代など多世代が集まることができる場を設けてはどうか。
- ⑤ 200人~300人程度収容可能な規模の多目的なホールを整備してはどうか。
- ⑥ 市民の力が発揮でき、ボランティアが活躍できる場を設けてはどうか。
- ⑦ コワーキングスペースのように仕事可能なスペースと託児機能を設けてはどうか。

2 ワーク②「3つの機能と行政機能のあり方考える」

- ① 教育と福祉関係を融合させ、将来の行政を担うような人材を育成することはどうか。
- ② 今後、小川エリアが市の中心となる可能性もあり、総合窓口や出張所機能など市民の利便性が向上する整備を行うことはどうか。
- ③ 標識など、市民の立場に立った表示にすることが大切である。
- ④ やりたいことができる場、わくわくするような楽しい場、市民とともにつくっていく場を設けてはどうか。
- ⑤ 機能同士が連携するようなイベントなどを実施してはどうか。

第1部は、12月2日(日)と12月22日(土)にテーマに沿って開催し、まとめを行います。テーマなどは小平市ホームページをご覧ください。
<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/071/071682.html>



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp